

2023 9

きらめく才能! 新時代の27作家

# 「日本画」

イノベーター

# 令和の変革者

# 月刊美術

No.576

Since 1975



嵯峨菊 齋藤満栄

— 千年の華 — 葉山有樹展

8月23日～28日 ● 阪急うめだ本店 9階うめだギャラリー ☎06 (6361) 1381

1961年佐賀県有田生まれ。85年佐賀県武雄市山内町に「葉山有樹窯」を開く。細密な描画技術を誇り、伝統に根ざした文様と現代のモチーフを巧みに融合。精緻を極めた人気の花の細密画を描いた磁器などを紹介する。



葉山有樹 万花彩香炉

デュフィとローランサン —モードに触れた二人—

9月16日～10月15日 ● 銀座・ギャラリーためなが ☎03 (3573) 5368

美術、音楽、文学とともにファッションの芸術性が追求された20世紀初頭のパリ。画家ラウル・デュフィは洒落な布地をデザインし、マリー・ローランサンはシャネルのドレスを着た社交界の婦人の肖像画を描くなど、ファッションと密接に関係した2人の作品を展観する。



ローランサン 白いスカーフの少女 油彩

棚田康司「空を見上げる」

開催中～8月28日 ● 日本橋高島屋S.C. 本館6階 美術画廊X ☎03 (3211) 4111

1968年兵庫県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。憂いを秘めた表情の、か細く繊細な一木造りの少年少女像で注目を集める作家。2022年に第30回平櫛田中賞を受賞。本展では会場を「太陽SIDE」と「月SIDE」に分け、新作、旧作ほかを出品する。



棚田康司 (左から) 卓の少年-太陽、卓の少年-月 樟材の一木造りに彩色ほか

寺久保文宣 — いにしえいま 古と今の光を求めて —

8月30日～9月4日 ● 日本橋二越本店 本館6階 美術特選画廊 ☎03 (3241) 3311

1964年埼玉県生まれ。90年東京藝術大学大学院修了。現在、白日会常任委員、日展会員。絵画の持つ色や形の関係を美しく響き合う音楽になぞらえ展開する「シンフォニア」シリーズを中心に、花や静物、人物をかたどった作品や、近年注力している風景画を展示。同画廊約3年ぶりの個展となる。



寺久保文宣 シンフォニア 油彩

第12回「座の会」展

8月26日～31日 ● 大崎・0美術館 ☎03 (3495) 4040

日本画の新鋭から漆芸界の長老まで、幅広い世代、分野のメンバーによる第12回展。これまで同様、日本画、墨画、漆絵など多彩な表現手法と工夫を凝らした絵作り、展示方法により、世代を超えて今日的な日本の絵画表現を模索する。オープニング・イベントとして、大西長利の「漆のはなし」を。



藤原宇希子 あかねこ

炫の会 日本画展

9月7日～12日 ● 名古屋・岩勝画廊 ☎052 (202) 1770

東京藝大出身作家の日本画家12名によるグループ展。大河原典子、岡村智晴、狩俣公介、川又聡、須藤和之、染谷香理、永井健志、並木秀俊、野地美樹子、松岡歩、松下雅寿、松村公太が参加。それぞれの最新作を披露する。



野地美樹子 北狐 日本画



町村桂三郎《翼》30F

11:00-18:00

土・日・祝日休廊

彩鳳堂画廊

Saihodo Gallery

〒104-0031

東京都中央区京橋3-3-10 第1下村ビル 2階

tel. 03-6262-0985 fax. 03-6214-0418

e-mail saihodo@mba.nifty.ne.jp

http://saihodo.com/



### コタボ、ギアマン、ワイズバッシュ、フサロ —具象の系譜—

9月16日～10月8日 ●大阪・ギャラリーためなが大阪 ☎06(6949)3434

エコール・ド・パリに続いて、新しい具象絵画を探求し独自の画風を確立させたコタボ、ギアマン、ワイズバッシュ、フサロ。圧倒的なマチエール、大胆な色彩構成、一瞬の動きを捉えるデッサン力は、戦後の日本人の心をとらえた。風景、静物、花、人物画の約30点を。



ギアマン サーカス 油彩

### — 練る 挽く 彫る 焼く — 和田 的 陶展

9月13日～18日 ●日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 ☎03(3241)3311

1978年千葉県生まれ。2001年文化学院陶磁科卒業、上瀧勝治に師事。同画廊9年ぶりとなる個展。シャープな造形と鋭く刻まれる彫りと削りにより、陰影が印象深い作品を生み出す。作家独自の削りの極致が存分に生かされた約15点を展覧。



和田 的作品

### 足立絵美展 —ポポドロフェスター—

9月16日～24日 ●岐阜・長江洞画廊 ☎058(262)0541

ドロップ缶の中の神の国、POPOTOPIA (ポポトピア) に隠れ住む奔放な少女姿の邪神たちや生き物を描いた絵画 (日本画)、さらに人気のパンタン (操り人形) あわせて10余点発表。地元岐阜にて3回目となる個展。唯一無二の足立ワールドをぜひ。



足立絵美 ソーイングウッドベッカー 日本画

### — Color of Days — 福本 正 展

8月30日～9月5日 ●松坂屋上野店 7階 アートギャラリー ☎03(3832)1111

1964年東京都生まれ。89年東京藝術大学卒業。ポップアートや琳派を思わせる、現代日本画の福本ワールド。果物、野菜、植物、おもちゃなどをモチーフに独自の目線で彩られた日々を表現。松坂屋では初の個展。新作の小品を中心に約25点を発表予定。



福本正 AKA 日本画

### GALLERY SCENA 1周年記念展

8月25日～26日 ●明治神宮前・GALLERY SCENA ☎03(6805)0887

誕生から一年を迎える節目に、8作家の新作を中心に特別展示。池永康晟、MASARU OZAKI、坂田源平、チン・ペイイ、原ナビィ、松村咲希、村上仁美、吉田樹保が独自に突き詰めた、新しい表現を楽しむ。



村上仁美 紅薔薇の継承 陶彫

### 第89回 浅野輝一展 『日々の情景から…』

8月21日～26日 ●銀座・シロタ画廊 ☎03(3572)7971

これまで「現代の風景から…」をテーマに制作してきたが、今展では、「日々の情景から…」と題し、より身近な社会現象に目を向け、現代人の様々な不安や心の動きを、歪なフォルムと現実的な人間像を対比し表現することを試みる。自身89回目の個展。



浅野輝一 2023年の疾走

### 園家誠二個展 月明

9月4日～14日 ●銀座・ギャラリー和田 ☎03(3561)4207

1960年富山県生まれ。84年東京学芸大学教育学部卒業。墨、岩絵具のほかアクリルガッシュを用いて、印象、記憶、儂さなどを表現。「画面上に残していく微かな要素と対話」しながら生み出される絵画作品を。



園家誠二 月光 no.2302

### シルクロードに陶華 七代 加藤幸兵衛 茶陶展

9月14日～20日 ●京王百貨店新宿店 6階 京王ギャラリー ☎03(5321)5300

1945年岐阜県生まれ。全国の百貨店を中心に個展多数開催。今年2月に、岐阜県の無形文化財技術保持者(三彩)の認定を受ける。ラスタース彩、淡青釉、三彩、藍彩やむらさき鏤彩などシルクロードの香り豊かな作品100余点を展覧。



七代 加藤幸兵衛 淡青釉金彩花文 水指